

旭市立中和小学校学校再編地域検討会議 検討結果

(仮称)干潟地域小学校の統合について旭市立中和小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を１校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」

とする基本方針に「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】

中和小学校は、明治１０年の創立以来、時代の変遷の影響を受けつつも地域と共に歩んできた歴史と伝統がある。また、中和地区のシンボルでもあり「地域と共に歩む幽学の里の小学校」をキャッチフレーズとして、地域に根付き親しまれた学校が閉校することは非常に惜しまれる。

一方で、昭和の時代には４００名以上いた児童数は令和５年度に９０名となり、さらに減少していくことが見込まれ、複式学級が発生することが現実的となってきている。

会議の中では、もっと広域的な統合や小中一貫校、少人数教育の有効性などの意見もあるほか、統合する学校を干潟地域に残したいといった様々な意見があった。

多くの意見を出し合った結果、多数の委員が複式学級は避けたいとの意見であり、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられるような統合を望んでいることから、子どもたちのことを最優先に考え、統合は「賛成」または「やむを得ない」という意見が多数であったため、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心に生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や個々に応じた心のケアなどの必要な活動を実施していただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③学校の整備については、停電や土砂災害などを考慮した対策を講じていただきたい。また、児童の引き渡し等がスムーズに行えるように入出口や通路を整備していただきたい。
- ④安全に学校生活が送れるよう、防犯カメラや避難マニュアルなど必要な防犯対策を講じていただきたい。
- ⑤スクールバスの停留所は子どもが無理なく歩いて行ける距離で安全に乗降できる場所に設置していただきたい。
- ⑥中和小学校の跡地活用は、新たな地域の拠点として地域の活性化につながるような活用方法を地域とともに検討していただきたい。
- ⑦統合校は、干潟地域の子どもたちが、綺麗になった校舎でキラキラ目を輝かせながら学校へ通う姿を想像し、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

【会議の概要】

第1回 (R5.7.4)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 干潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.8.28)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.2)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.6)	(1) 検討結果の報告書（案）について

令和5年11月6日
旭市教育委員会